

堀川弘通監督作品

協力 新日本婦人の会 ■ 劇映画 ■ カラー作品

翼は心に ついで

昭和五十三年度芸術祭参加作品

配給 共同映画全国系列会議

いのちつてすてきね
みじかいあいだったけど
あたしはたくさん生きたわ
あたしはとうとう翔んだわ
父さん 母さん
いのちをありがとう



平凡な少女が人生にすべてをかけ

いのちを燃やした愛の記録

宇野重吉	鈴木瑞穂	南風洋子	村瀬幸雄	永瀬智子	土居まさる	石渡り子	片山竜二	村上不二夫	岡本信人	荒井注	山本圭	佐々木愛	渡辺みえ子	原知佐子	松本典崇	山口和也	上村えり	石田和也	香川京子	フランキー堺
------	------	------	------	------	-------	------	------	-------	------	-----	-----	------	-------	------	------	------	------	------	------	--------

製作 翼プロダクション

東京都渋谷区桜丘町15-11共同映画(株)内 TEL03(476)3757



■スタッフ

企画・製作

山口・逸郎

原作（光社刊）

関根 庄一編著

脚本

寺島アキ子

堀川 弘通

監督

堀川 弘通

撮影

中尾駿一郎

照明

久米 成男

美術

川崎 軍二

録音

太田 六敏

音楽

宮下 光威

三善 晃

音楽指揮

尾高 忠明

編集

中静 達治

助監督

渡辺 範雄

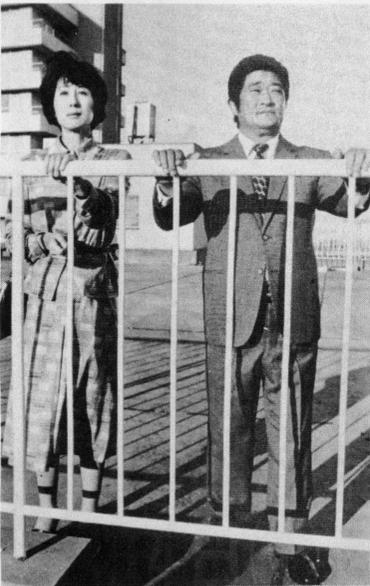
製作補

相澤 徹

日本PTA全国協議会特選/都教組特選/厚生省中央児童福祉審議会推選/優秀映画鑑賞会推薦

翼は心につけて

カラー作品



■かいせつ

■一九七六年四月五日、鈴木亜里は高校入学を目前に十五才の生涯をとおしました。翌年四月、関根庄一氏、母の博子さんはじめ、教師、友人、医師、看護婦さん達の綴られた「翼は心につけて」(「光社刊」)が出版され、大きな感動をよび、ベストセラーとなりました。

■七七年秋、映画化の準備がはじまり、シナリオは放送・演劇に活躍の寺島アキ子と堀川弘通が。演出は初めての独立プロ作品に意欲をもやす、ペテラン堀川弘通で、七八年七月八日クランク・イン、九月完成。

■亜里役には数百人の候補の中から石田えりが抜擢され、両親にフランキー堺、香川京子が扮し、宇野重吉をはじめ、映画、演劇界のベテラン、多彩な出演者が熱演。

■団地、学校、病院等すべて撮影は実際にかかわりのあったところでのオールロケーションで行われました。

■「人が生きて力いっぱい働きたいと意欲を燃やしたとき、どんなすばらしいことができるか、又それは人間誰もがもっているものだ」ということを描くこの映画は、多くの人々に共感と生きる励ましを与えるでしょう。

■子どもの教育と文化に大きな力をそそいできた新日本婦人の会が、一九七九年の国際児童年を記念する事業として協力しています。

■あらすじ

鈴木亜里十五才。共働きの両親、弟と共に団地に住む平凡な女の子。「友だちになつて下さい」という男の子の手紙に胸をときめかせ、「ダメ、頭わるいもん」と高校進学にちよっぴり悩む、テニスの好きな明るい子でした。

テニスの練習中、突然おそった激痛に思わずラケットを落す亜里。検査の結果、骨肉腫とわかりすぐに入院せねばならなかった。しかし、医師は他への転移をふせぐためには、あとは右腕の切断しかないことを両親に話すのでした。涙ひとつこぼさずうけいれた亜里だったが、その手にはじめてピンクのマニキュアをし、指輪をはめてみるのでした。

「学校へなんか戻らない。戻ったってテニスもできないし、勉強なんかしなくない」と手術後の回復訓練も、友人のお見舞いも拒絶する亜里。だが、そんな亜里の心をひらいたもの、それは懸命に生命をまもるためにつくす病院に働く人々の姿でした。「病む人たちの力になりたい」「佳代や原看護婦と話し合い」「ケースワーカーなら片腕がなくてもできるわ」と、生きる目標をつかんだ亜里は、今までの遅れをとりもどそうと、勉強に、機能訓練に猛然といどむのでした。そして、あちこちの病室で、アーちゃんの明るい笑い声がびくのでした。

「アーちゃんがいなくなるとさびしいわ」退院の喜びを胸に各室に挨拶する亜里。だが佳代と仲夫に医師は、「ガンが肺に転移し、もつても来年の春まで……」とつける。

ケースワーカーになるために、亜里は永和高校を志望したが、今の偏差値では無理だといわれるが「少しでも可能性があるなら……」亜里と佳代の熱意に、教師もできるかぎりの応援を約束する。仲夫も、級友も亜里を励まし、ささえるのでした。

努力はむくわれ、亜里は高校入試合格の喜びを手にしたが……。

●特別鑑賞券発売中

□お問い合わせ「成功させる会」事務局
(463)8245共同映画(478)5491 新日本婦人の会東京都本部

一般券 ¥1,000 (当日 ¥1,300 の処) 中・高・大学生券 ¥850 (当日 ¥1,100 の処)

上映時間(4館共通) 日曜9:30~平日11:50/2:10/4:30/6:50

10月14日(土)よりロードショー

※製作協力券で入場できます

有楽町・朝日新聞社ウラ

丸の内松竹

(201)3720

●10月27日まで

ハチ公口・西武さき

ジョイシネマ

(462)2539

●11月2日まで

池袋東口・池袋劇場地下

池袋地球座

(971)8796

●11月2日まで

伊勢丹斜め向い

新宿京王地下

(356)3518

●11月2日まで